



明日を力強く生きるために。

Best life Japan

株式会社 ベストライフジャパン

重症児デイファミリー伊勢原 『支援プログラム』

2024年4月作成

児童発達管理責任者 中村久美乃

【法人（事業所）理念】

一知に学び、友に遊び、共に育み、ともに生きる

ファミリー・キッズでは、お子様、ご家族お一人おひとりに寄り添い、スモールステップで、小さな「できた！」を、みんなで一緒に喜び
自己価値「感」が芽生えるような支援を心がけております。

【支援方針】

重症児デイファミリー伊勢原では、「家庭的な環境で安心した生活ができる！」を
テーマに、精神的、身体的機能の向上を図り、将来自分らしく、社会生活が送れるようになることを
目標とし、一人ひとりの能力に応じた内容を考え、身辺自立、運動、認知、言葉、社会性などの支援を行います。また、事業の実施にあたっては、関係市区町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。

【営業時間】

放デイ/（登校日）10：00-17：00（休校日）9：00-16：00 児発/10：

00-13：00 【送迎の実績】 有 学校・ご自宅 送迎

重症心身障害のお子様の特化した児童発達支援・放課後等デイサービスとして、
個々の発達段階、障がい特性に配慮しつつ、以下の「5領域」の目標に向けた支援を行います。

Ⅰ 《健康・生活》

ねらい

- 1.健康状態の維持向上
- 2.生活リズムと基本的生活スキルの獲得
- 3.食育を通じて食への興味関心を育てる
- 4.個別に医療的ケアを実施し、安全安楽に過ごす

1. 健康状態の維持向上

- ・看護師を配置し、バイタルサインを含めた健康観察を行い、不調に対応できるよう支援します。
 - ・成長に伴うけいれん発作の状態や側弯等の心身の変化を把握し、進行予防及び緩和に努めます。
 - ・アセスメント 診療情報提供書 医療的ケア指示書 退院時サマリー カンファレンス等
関係機関と連携し、情報共有したうえで、適切な対応が出来るよう努めます。
2. 生活リズムと基本的な生活スキルの獲得
- ・食事、排泄、活動・休息等の生活リズムに合わせたケアを実施し、基本的な生活が送れる様支援します。
 - ・ポジショニング、姿勢保持、食事形態（一口大・刻み食・ミキサー食・トロミ等）、介助方法、自助具の使用等に配慮し、生活動作についても個々の機能を最大限活かせるよう支援します。
3. 食育を通じて食に対する興味関心を育てる
- ・様々な食形態や経管栄養に対応し、確実に栄養・水分が摂れる様支援します。
 - ・楽しい雰囲気ですべてを摂ることを心がけます。
 - ・野菜の栽培、買い物、調理実習、デリバリーランチや外食等の体験を通じて食への興味関心が育つよう働きかけます。
 - ・食事介助方法の工夫をし、より効果的に経口から食べられるよう支援します。
4. 個別に医療的ケアを実施し、安全安楽に過ごす
- ・医師の指示による医療的ケアを確実に実施します。

II 《運動・感覚》

ねらい

1. 成長発達に応じた運動機能の獲得および向上
 - ・筋緊張の緩和と側弯の予防
 2. 五感及び前庭感覚 固有感覚への刺激を行い総合的な活用を進める
 3. 感覚入力を多用し、刺激を得ることで、感情の表出につなげる
1. 成長発達に応じた運動機能の獲得および向上
- 筋緊張の緩和と側弯進行予防のための支援
- アセスメントや評価を基に、個々の身体機能に合わせた発達サポートを行います。
- (支援例)・体幹・四肢装具を使用しながら安全に配慮した姿勢取り、姿勢変換。
- ・遊びの中から定頸、追視、寝返りなどの身体発達が促進するための意図的な関わり
 - ・SRC ウォーカー、車椅子、座位保持装置、手遊び、マット運動などを用いて、基本的な運動機能の獲得につながるよう支援します。
2. 感覚刺激を行い総合的な活用を進めます
- ① 視覚：トータル視力を育てる 見ながら触る 見ながら動かすことで因果関係を学習します。
- 視覚刺激を行いお子様の興味関心を通じで、注視、追視の獲得につなげます。
- 視野が広がるようポジショニングを行います。
- (創作・福祉スイッチ・散歩・iPad・スヌーズレン・モバイル・壁面制作)
- ② 聴覚：お子様の内面に注意を向けお子様が自発的に感じる力、想像力を育てます。

過敏・鈍麻などに配慮し、情報量を調整し集中できるよう環境を整えます。

(あいさつ・絵本・リズム遊び・楽器・音楽療法・音楽鑑賞)

③ 味覚：食体験を通じて、食べられるもの、好きな物のレパートリーを増やせるよう支援します。(おやつ無償提供 適切な食形態の対応 調理実習 季節感 行事食 文化としての食育)

④ 嗅覚：心地よい香りを通じて 緊張緩和やリラックスできるよう支援します。

(ハーブ 花 ・アロマセラピー・植物園・草木染など)

⑤ 触覚：スキンシップで仲良くなろう。

スキンシップを多用し、愛着や信頼関係を深め、自己肯定感につなげます。

(マッサージ・抱っこ・タッチング・ドレナージュ・手浴足浴など)

⑥ 前庭感覚：安心感や心地よさを体験できるよう支援します。

重力、回転、加速、傾き、揺れを活用することでバランス感覚を促します。

(バランスボール・ハンモック・シーツブランコ・トランポリン・回転いす、バウンザー・遊具など)

⑦ 固有感覚：ボディーイメージを活性化しよう。

重い、強い、手ごたえ、温度、質感、痛みの感覚を意識できるよう働き掛けます。

身体を触ることでボディーイメージを刺激します。

動きにくい部位を動かす練習を通じて、自発的な動きにつながるよう支援します。

首を水平回転することで視野が広がるよう促します。

主な関節を中間位で動かすことで、感覚を得られるよう支援します。

(座位・四つ這い・キック・ストレッチ・どっちが多い?どっちが重い?クイズ 手遊び)

3. 感覚入力を多用し、刺激を得ることで、感情の表出につながるよう支援します。

感覚過敏や鈍麻への対応を行い、快の刺激を適度に入力することで、心の安定を図り、自己肯定感につなげることで、安心して意思表出できるよう支援します。

4. 理学療法士・作業療法士を配置し、専門的視点で評価できるよう努めます。

保護者様の許可を得て、医師やリハビリでの情報を共有し、効果的な支援を行います

Ⅲ 《認知・行動》

ねらい

空間・時間・数等の概念形成の習得

感覚を活用し認知の発達と行動の習得

対象や外部環境の適切な認知と行動の習得

① 触覚：主に触覚に関するすることで、物への認知や簡単な操作について獲得できるよう支援します。

(触覚・固有覚・前庭感覚の刺激への気づき 手・物への気づき 把持 簡単な操作 因果関係の理解等)

② 視覚：主に見る事の発達や目と手の協応の発達を促します。

(視覚刺激への気づき 注視 物への気づき 興味の拡大等)

③ 視覚・操作：主に目と手の協応動作の発達について支援します。

(始点と終点の理解 視覚情報の活用 空間認知の高まり等)

④ 数量・概念：主に数や両概念の初期段階について理解できるよう支援します。

(保存の概念・どっちが大きい ジュースがなくなった 見本を見て真似る)
(図形概念の芽生え ○▽□ 指定された色 見本 マッチングパズル 仲間集め)
(数量の概念の芽生え 多い少ない 長い短い 大きい小さい 全部・1つ・同じの理解
もうひとつ もうすこし 写真と実物のマッチング 順番 日時 等)

IV 《言語・コミュニケーション》

ねらい

- ・要求の表出
 - ・言語の理解と活用
 - ・コミュニケーション手段の選択と活用
- ① 発達段階に応じた要求の表出を理解し、行動に移すことで相互交流の成功体験を積み重ね、伝える事へのモチベーションにつなげます。
(要求の表出の拡大でコミュニケーションの基本能力を獲得できるよう支援します)
 - ・生理的快不快に対する表出
 - ・支援者に対して笑う、泣く 注視するなど明確な表出
 - ・期待反応 声のやり取り 応答性のある行動 大人への積極性 物への働きかけ
 - ・欲求の芽生え yes/no による要求 指差し理解
 - ・要求手段の多様化 指差し要求
 - ・要求の具体化 言語を伴う要求
 - ・自己主張の芽生え 二語文での要求
 - ② 安心して伝えることができる環境を整え、自信につなげます
 - ③ コミュニケーションツールの多様化で意思表示の機会を増やします。
(iPad 意思伝達アプリ 絵カード nekomimi 等)

V 《人間関係・社会性》

ねらい

- ・アタッチメント（愛着行動）の形成
 - ・模倣行動を通じて社会性や対人関係を学習
 - ・感覚運動遊びから象徴遊びへの支援
- ① 他者との関係を意識し、身近な人との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周りの人と安定した関係が形成できるよう支援します
 - ② 遊びを通じて人の動きを模倣することにより社会性や対人関係の芽生えを支援します
 - ③ 見立て遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通じて社会性や人間関係の理解につながるよう支援します。
 - ・人の働きかけによる快反応（抱っこ・タッチ・揺れ等により表情が緩む）
 - ・声への快反応（声掛け、笑い声に表情が緩む）
 - ・大人への注意（注視 くすぐる手遊びを好む）
 - ・特定の支援者への気づき（特定の支援者への反応）
 - ・大人への積極性（人の顔に興味を示す 声がわかる 愛着を示し自分から手を出す）

- ・感情の分化（優しそうな声 怒った声に表情が変わる 知らない人に不安をしめす）
- ・物を介したやり取り（鏡に向かって笑ったり触ったりする 物を落として拾ってもらうことを好む）
- ・他者意図への気づき（おいでと言って両手を差し出すと両手を上げ抱かれようとする）
- ・自分への気づき（名前を呼ぶと 呼ばれた方を向く 支援者の簡単な動作を模倣するバイバイ）
- ・他者意図の理解（「いけません」「どうぞ」等の言葉に行動が伴う）
- ・やり取りの拡大（気に入ったものを取られると怒る 名前を呼ばれると手を上げ応える）
- ・共感性（褒められると嬉しそうにする 支援者の表情を気にする 遊んでいるものを支援者にみせる）
- ・社会性の芽生え（交代で遊ぶ 褒められるとその行動を繰り返す 痛がっている人を心配そうに見る）
- ・共感性の高まり（興味を引こうと反応を期待する 自分の関心を持ったものを指さして教える等）
- ・他の子どもへの興味（他の子どもに関心を示し、自分から関わる 他の子と2～5分一緒に遊べる 他の子にくっつく 手をつなぐ 年下に興味を示す 他の子を模倣する）
- ・自己意識の芽生え（指示した事を嫌がり なんでも自分でやりたがる ○○ちゃんはどこ？で自分を指さす）
- ・社会性の高まり（他の子におもちゃを貸す 食べ物を分ける 我慢して1分以上待つ）

【家族支援】・きょうだいへの支援"

- ・保護者向けの相談・支援、きょうだい児に関する相談等プログラム
- ・育児に関する相談等面談を通し家庭でできる支援の提案とアドバイス"

【移行支援】 ・小・中・高校や保育園・幼稚園との連携

- ・就学準備プログラムの実施
- ・進路相談と関係機関との調整"

【地域支援・地域連携】・地域の子育て支援機関との連携や地域イベントへの参加・

共催

- ・ボランティアや実習生の受け入れ"

【職員の質の向上】・定期的な研修・勉強会の開催

- ・専門機関との連携によるスキル向上
- ・スタッフ同士のケースカンファレンスの実施

【主な行事等】 子どもの日・お誕生日会・ハロウィン・クリスマス会・初詣



